

病害虫発生予察注意報第 3 号

佐賀県

県内各地でタマネギべと病の孢子形成を伴う一次伝染株の発生が認められます。また、今作のタマネギは生育が早く本病に感染しやすい状態になっており、**各作型とも二次伝染期**に入ったと考えられます。ついては、平成 28 年産のような被害を防ぐため、引き続き「**一次伝染株（越年罹病株）の抜取り**」と「**ジマンダイセン水和剤を主体とした薬剤防除**」を確実に実施してください。

作物名：タマネギ（早生及び中晩生品種）

病害虫名：べと病

1 注意報の内容

発生地域：県内全域

予想される発生量：平年より多い

2 注意報発令の根拠

1) 現地圃場での発生状況

(1) マルチ栽培早生タマネギ

平成 31 年 3 月 5 日に県内 12 圃場を調査した結果、一次伝染株の発生圃場率は 25%（前年同時期 40%、平成 28 年同時期 64%）、発生株率は 0.02%（前年同時期 0.04%、平成 28 年同時期 0.92%）で多発生した平成 28 年より少なく前年並であった（表 1）。なお、一次伝染株上には多くの孢子形成がみられた。

(2) 無マルチ栽培中晩生タマネギ

同様に県内 11 圃場を調査した結果、一次伝染株の発生圃場率は 36%（前年同時期 10%、平成 28 年同時期 63%）と平成 28 年より低いものの、発生株率は 0.26%（前年同時期 0.10%、平成 28 年同時期 0.28%）で前年より多く、多発生した平成 28 年並であった（表 1）。ただし、発生程度には圃場間で差が大きかった（表 2）。なお、一次伝染株上には多くの孢子形成がみられた。

表 1 タマネギべと病の発生状況

調査年	マルチ栽培		無マルチ栽培	
	発生圃場率(%)	発生株率(%)	発生圃場率(%)	発生株率(%)
平成31年	25	0.02	36	0.26
平成30年 (前年)	40	0.04	10	0.10
平成28年 (多発生年)	64	0.92	63	0.28

※ 調査は平成31年は3月5日、平成30年は3月6日、平成28年は3月2日に実施。

表2 無マルチ栽培タマネギにおけるべと病一次伝染株の程度別圃場数

調査圃場数	一次伝染株の発生程度別圃場数				
	0	0.05～0.2	0.2～1	1～2	2～(%)
11圃場	7	2	1	0	1

※ 調査日：平成31年3月5日 各圃場で2,000株調査を行い、発生株率を算出した。



写真1 無マルチ栽培タマネギに発生した一次伝染株
(平成31年3月5日撮影)



写真2 一次伝染株上に形成した分生胞子
(平成31年3月5日撮影)

2) タマネギの生育とべと病の感染

今作のタマネギは平年に比べ生育が進んでいる。また、農業試験研究センターの調査によれば、前年にべと病が多発生した場内圃場に平成30年11月20日に定植した品種「七宝早生」及び、11月27日に定植した品種「ターザン」(いずれも薬剤無防除)において、二次伝染による病斑の発生が確認されており、今作のタマネギはべと病に感染しやすい状態になっていると考えられる。

3 防除上注意すべき事項

タマネギべと病は、周辺ほ場まで広く伝染するため、地域全体で防除対策に取り組む。

1)一次伝染株の抜き取り徹底

一次伝染株は周囲の株への伝染源となるので、各ほ場において発生状況を必ず観察し、発生を認めた場合には疑わしい症状を含めて**直ちに抜き取りを行う**。なお、発生は断続的に起こるため、抜き取りはこまめに行う。抜き取った株は放置せず適切に処分する。

2)薬剤防除の徹底(図1、図2参照)

今後の薬剤防除は、効果の高いジマンダイセン水和剤、フロンサイドSCにより実施する。なお、使用に当たっては農薬使用基準(収穫前日数、総使用回数等)を遵守する。

【早生タマネギ】(収穫日5月5～10日を想定)

4月上旬までの重点防除期はジマンダイセン水和剤を7日間隔で散布し、4月中旬にフロンサイドSCを散布する。

【中生・晩生タマネギ】(収穫日5月22～30日を想定)

4月下旬までの重点防除期は、4月中旬までジマンダイセン水和剤を、4月下旬、5月上旬はフロンサイドSCを散布する。

なお、**早生品種の収穫中であっても防除を継続する**。

【各作型共通】

週間天気予報により曇雨天が続くと予想される場合には、降雨前に防除を実施する。重点防除期間の散布間隔は7日間を基本として防除を徹底するが、天気予報により散布予定日以降に降雨がないと判断されれば散布間隔を10日まで延長できる。降雨等により圃場条件が悪く乗用管理機で防除できない場合には、動力噴霧器による手散布で対応する。

3) 排水対策の徹底

圃場内に雨水が停滞すると、本病が発生しやすくなるので、溝切り等の排水対策を徹底する。

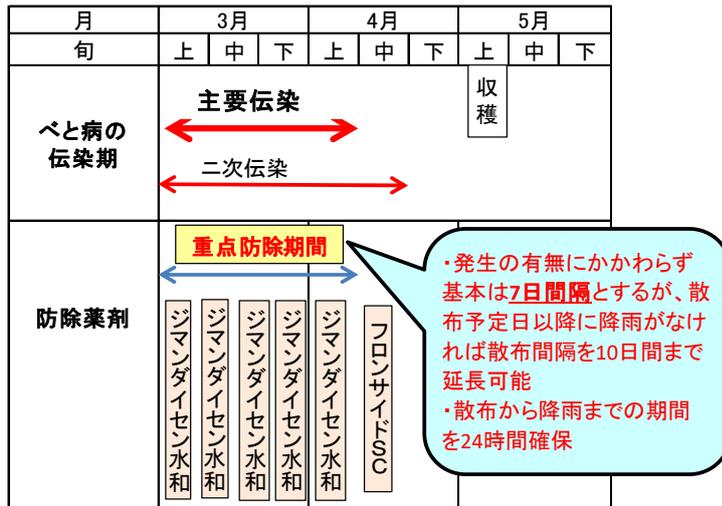


図1 早生タマネギにおけるべと病の伝染時期と薬剤防除体系（例）
（無マルチ栽培、定植日11月中・下旬、収穫日5月5～10日を想定）

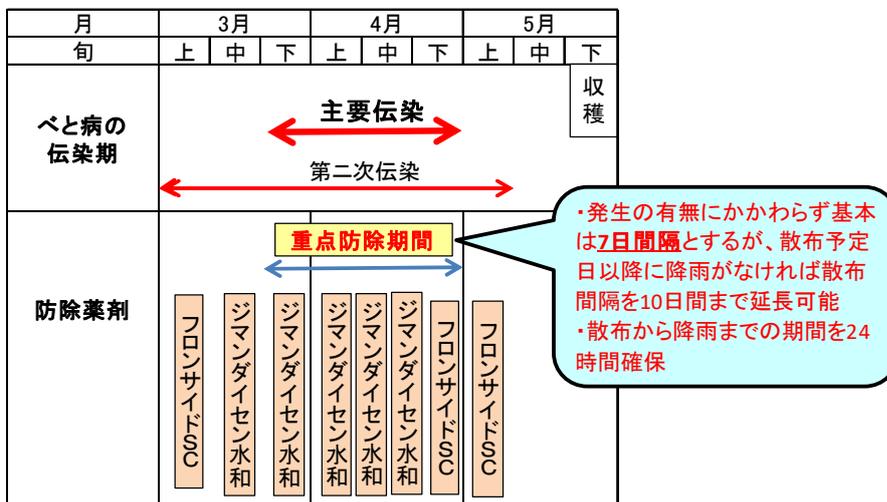


図2 中晩生タマネギにおけるべと病の伝染時期と薬剤防除体系（例）
（無マルチ栽培、定植日11月下旬、収穫日5月22～30日を想定）

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部
〒840 2205 佐賀市川副町南里 1088
TEL (0952)45 8153 FAX (0952)45 5042